



【よこはま国際フォーラムにて アフリカ事業を紹介】

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 29 年 2 月 13 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp

TICAD 関連セミナーで国際局長 がアフリカ事業を紹介しました

2月5日に、JICA 横浜で開催された「よこはま国際フォーラム 2017」で、アフリカ開発会議

(TICAD)に関するセミナーが行われ、横浜市の関山誠国際局長がパネリストとして出席しました。

このセミナーは、市民ネットワーク for TICAD と特定非営利活動法人横浜 NGO 連絡会の主催によるもので、「次の TICAD は 2 年後～ TICAD VI の約束にどう取り組み、TICAD VII にどうつなげる」をテーマに、関山局長のほか、フランソワ・ウビダ 駐日ブルキナファソ特命全権大使、望月寿信 外務省アフリカ部アフリカ第二課地域調整官、稲場雅紀 市民ネットワーク for TICAD 世話人が出席し、意見交換が行われました。



「お笑いジャーナリスト」と 「横浜市の外交官」がアフリ カ・トークを展開！

2月4日に JICA 横浜で開催された「よこはま国際フォーラム 2017」で、お嬢様キャラの芸風で活躍されている、お笑い芸人・

ジャーナリストの、たかまつななさん（市内フェリス女学院出身）と横浜市の 荒木要 国際局担当部長が、アフリカについて語り合いました。

このトークイベントは 2 月 4 日に 2 回に渡って開催され、たかまつななさんは、JICA の「なんとかしなきゃ！プロジェクト」で訪問したマダガスカルでの驚きの体験を披露。それまで持っていたアフリカのイメージとのギャップなども紹介しました。

また、荒木部長は、横浜市の第 4 回と第 5 回アフリカ開発会議の開催都市としての実績を紹介。横浜市が行うアフリカへの技術協力、そしてアフリカへ進出している市内企業の事例など話は広がりました。

たかまつさんと荒木部長のトークで会場は笑いに包まれ楽しい雰囲気になり、大盛況のイベントとなりました。



(トークイベントの様子)

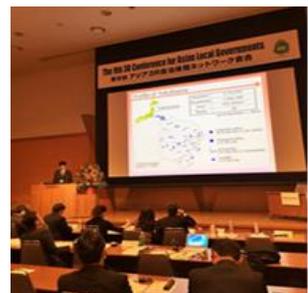
第 9 回アジア 3 R 自治体間ネッ トワーク会合に参加しました

1 月 31 日に浜松市で開催された「第 9 回アジア 3 R 自治体間ネットワーク会合」には、廃棄物の 3 R 推進に携わる日本やアジアの自治体関係者、民間企業が参集し、横浜市からは資源循環局、国際局の職員が参加しました。

会合では、「3 R の都市間連携事業と将来展望」をテーマに、3 R 推進に向けた横浜市内および海外での取組についてプレゼンし、参加者と意見交換を行いました。

また、本市と技術協力の覚書を結んでいるベトナム・ダナン市、タイ・バンコク都も参加しており、ダナン市から本市との廃棄物分野での協力について紹介されました。

私たちが日々行う 3 R の取組が、海外のごみ問題の解決に貢献することへの期待が高まっています。



(ネットワーク会合の様子)